

【会議録】	報告者	まちづくり推進課都市計画グループ					室本
名称	第5回 富士見市都市計画基本方針策定委員会						
日時	令和2年8月3日(月) 10時～12時						
場所	中央図書館2階 視聴覚ホール						
出席者	委員	1号	委員	塩野 弓子	3号	委員	山科 和仁
		2号	委員長	深堀 清隆		委員	中村 章
			副委員長	木内 芳弘		委員	新井 幸雄
		3号	委員	金子 光治		委員	小栗 知実
	委員		渋谷 利江	委員	浅井 聡一		
事務局職員及び説明担当員	【事務局職員(まちづくり推進部)】 落合部長、高橋市街地整備担当課長 【事務局職員(まちづくり推進課)】 栗林課長、會田副課長、室本主任 【委託業者】 玉野総合コンサルタント(株) 渡辺係長、大家主任						

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 資料説明<質疑応答>

- ・地域別構想について

事務局から、配付資料を説明。

【意見・質疑応答】

(本文文言・表現について)

■中村委員

『狹隘』を『狭あい』に統一してはどうか。

■塩野委員

細かい表現が違う箇所があるが内容に違いはあるのか。

- ・『地域公共交通』、『地域公共交通網』
- ・『本市の玄関口』、『まちの玄関口』

◆事務局

『狭あい』、『地域公共交通網』に統一する。また、『本市の玄関口』については、メインゲートである鶴瀬駅東口のみこの表記とし、他の駅前を『まちの玄関口』としている。その他の記載は精査する。

■委員長

方針は、どこの地区・どの路線など対象が分かるように、まちづくり方針図の表現を工夫してほしい。

■小栗委員

P17、目標5『災害に強いまち』について、住宅の耐震化・不燃化や緊急車両の進入についても記載しないと、災害に強いまちとは言えないのではないか。

■委員長

近年の動向として、SDGs について触れておいた方が良いのではないか。

(地域の将来像について)

■浅井委員

南畑地域の将来像には『スポーツやレクリエーションなどを通じた交流』と記載があるため、びん沼自然公園単独ではなく、周辺の他の公園と連携してスポーツ・交流を生み出すという表現としてはどうか。

(土地利用の方針について)

■浅井委員

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに対応する方針として、土地利用の方針に『公共空間の利活用』について記載しておくことが考えられる。

■浅井委員

シティゾーンについて、『周辺都市から人とモノが多く集まる市街地の形成』とあるが、ヒトとモノだけでなく『コト』について集まるという表現としてはどうか。

■新井委員

集落地について、『周辺環境と調和したゆとりとうるおいのある住環境の形成や地域の活力の維持を図ります』とあるが、どのように実現するのか。

◆事務局

全体的な方針として記載しており、具体的には農業政策と都市側で調整しながら検討していくこととなる。

(住環境整備の方針について)

■新井委員

『人口動向や土地利用などを踏まえ、必要に応じて生活排水処理施設の合理的かつ適切な区域設定の見直しを検討します』とあるが、どのような意味で記載しているのか。

◆事務局

処理方法は様々ある中で、必要に応じて区域を調整していくということである。

■新井委員

合併浄化槽は個人が管理するものであり処理の排水が流出する恐れもあるため、排水処理の方法として下水道が良いのではないかと考えている。

■副委員長

南畑地域は特定環境保全公共下水道として整備・運用している。

(交通体系の方針について)

■山科委員

P71、③交通体系に『バス路線から離れた地域では地域公共交通の改善が必要です』とあるが、実際に路線がない地域では、運行計画を改善するなどの表現としてはどうか。

(水とみどりの方針について)

■副委員長

『生産緑地地区の適切な土地利用の検討』とあるが、生産緑地地区では農地以外の利用は認めていないため、どのような意図で記載しているのか。

◆事務局

生産緑地地区は農地としての保全と活用を行うことを別項目で記載している。その上で、当該記載の意図は、生産緑地の解除に備えて適切な土地利用や小規模区画整理などを検討するという意図である。

■委員長

その意図であれば、解除に備えという内容を記載するなど、表現を工夫してほしい。

■塩野委員

P33、『市民への解放』とあるが『市民への開放』に修正すること。

◆事務局

修正する。

(都市防災の方針について)

■塩野委員

『浸水が想定される地域では浸水被害を受けにくい建築物の誘導』とあるが、転居を促したり、建築制限を含めた考え方なのか。

◆事務局

都市計画制度などを活用し、高床の建築物の誘導を行うなど、手法の検討を行っていくことを含めて記載している。

◆事務局

転居については、項目を分けて『安全な市街地への居住誘導を行います』と記載している。

■浅井委員

緊急輸送道路について、『特定緊急輸送道路』や『復旧優先道路』などと表現が分かれており、どの路線を整備しようとしているのかわかりにくいので確認してほしい。

◆事務局

課題に記載している緊急輸送道路は、第一次特定緊急輸送道路を指しているため、表現を見直す。

■委員長

水害について記載されているが、風水害とすることはできるか。

◆事務局

確認する。

(景観形成に関する方針について)

■副委員長

P52、景観形成の方針に『災害時の避難場所の整備や確保、避難経路の周知など減災に向けた準備が必要です』とあるが、防災の方針ではないか。

◆事務局

修正する。

- ・計画の進捗管理のあり方について

事務局から、配付資料を説明。

【意見・質疑応答】

■浅井委員

P93、市の役割に国・県との連携を追加した方が良い。

◆事務局

修正する。

■委員長

地域まちづくり協議会については、新たに組織をつくっていくという主旨に読めるが、既に動いている組織であるため表現を変えて欲しい。

■委員長

地域まちづくり委員会で協議した内容がどのようにまちづくりに反映されていくかが分かるプロセスなどを加えてはどうか。

4 その他

(市民ワークショップについて)

■委員長

社会情勢を考慮すると、書面開催はやむを得ないと考えている。書面開催で送付する資料はどのようなものと考えているのか。

◆事務局

これまでのワークショップで挙げた意見と対応方針、全体構想・地域別構想の原案を想定している。意見書についても様式を用意する予定である。

■委員長

書面開催の際に、新型コロナウイルス感染症による影響についても意見を伺えるようにしてほしい。

◆事務局

検討する。

■新井委員

書面開催に際しては、メンバーが答えやすくなる工夫が必要である。

◆事務局

意見書の様式を工夫して作成したい。

◆事務局

都市計画マスタープラン素案の冊子を送っても答えづらいため、全体構想については概要を送付する他、地域別についても、委員ご自身の地域の抜粋とすることを想定している。

■浅井委員

意見照会に際し、電話での補足などを行うことも考えられる。

■金子委員

ワークショップは意見収集にとっても有効と思うため、可能であれば人を集めて実施してほしいと思う。

■ 渋谷委員

話し合いを行った方が意見が挙がりやすいと思う。

■ 委員長

ワークショップの結果については、コラムなどどこかに残しておけると良いと思う。

(パブリックコメントについて)

■ 中村員長

パブリックコメントの資料はインターネットで配信するのか。

◆ 事務局

他の件同様、市ホームページに掲載する他、各地域の公共施設で閲覧できるようにする予定である。

5 閉会

以 上